



# 糸魚川東中学校のグラントデザイン

○自分の健康状態を見つめ、自己の健康課題を改善し、健康増進ができる生徒を育てます。

\*生活リズム改善週間を設定し、食事・運動・睡眠のバランスを考えた生活を実践させます。(市一貫教育)

○保護者・地域の理解・協力を得て、学校保健委員会の活発化を図り、校区内の小学校と連携して、自分の心身を大切にできる生徒を育てます。

\*ほけんたより等の啓発活動を積極的に行い、健康・安全に関心をもち主体的にヘルスプロモーションしていく基礎を培います。

## 総合教育活動

<自分づくりに取り組む>

○生き方・進路指導の充実

職場見学・体験、将来設計、高校・大学訪問、職業講話・先輩に聞く会を通して自分づくりを支援します。(市一貫教育)

○地域に発信する総合教育活動

家庭や地域に開かれた教育活動を積極的に行い、保育園・小学校・地域施設への訪問、通学地区ごとのクリーン活動など生徒の姿や活動を地域に発信します。(体育祭、合唱、地域がランティーン活動)

○表現活動の充実

体育祭や合唱コンクールなど学校内外の活動を「活動成果発表の場・仲間づくりの場」として位置付け、全校体制で取り組み、自分づくりを支援します。

○自他関係の醸成

小学校とも連携し、異年齢集団での活動の充実を図ります。課題解決的な活動を取り入れ、互いの気持ちを伝え合い協力し合うためのスキルを習得し、自他を大切にするよりよい仲間づくりを支援します。

(5月各学年糸魚川ジオパーク学習活動、10月中1チャンス宿泊体験学習、10月3年糸魚川ジオツアー＝市一貫教育)

## 敬愛

◆生き方に関する指導を充実します

- 豊かな心と主体的に生きる力を育てる教育の充実を図ります。
- 将来の生き方を考えさせる体験活動の充実を図ります。

## 家庭・地域との連携

生徒自ら学び、考え、  
行動して課題を解決できる生徒

◆積極的な生徒指導に努めます

- 基本的な生活習慣の定着を図ります。
- 生徒が、「学校が楽しい」「友達と仲良く活動できる」と感じる落ち着いた学校づくりに取り組みます。
- いじめのない学校をつくります。

## 生徒指導・生徒理解

<自他を大切にす仲間づくりに向けた取組＝居場所のある、安心できる環境づくりに取り組む>

○教育期を活用した指導・支援

教育期ごとの目標を設定し、学校諸活動に取り組むことで、メリハリのある学校生活となるよう支援します。

○生徒会活動の充実(いじめのない学校づくり＝東中アピール)

行事の企画・運営に携わる生徒の活動を支援し、生徒の自主的・自律的活動の支援・指導します。学年・学級活動、委員会・部活動をさらに充実させ、よりよい学校生活と校風づくりに向け、指導・支援します。

○チーム教育の推進・組織的な対応

教職員が役割を分担し、生徒にとってかわりのよい教職員を中心に生徒の指導・支援にあたります。

○道徳教育の充実

豊かな心の育成に向け、様々な体験活動と道徳教育を関連付けて、自他関係、集団生活の在り方について考えを深める指導と活動に取り組みます。モラルスキルトレーニング(MST)を計画的に行い、道徳的心情を培います。

## 健康

## 進取

◆学力の向上に努めます

- 自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力の定着を図ります。
- 家庭や地域との連携を促し、地域に開かれた学校の実現に努めます。

## 小学校との連携

## 教科・学習指導

○分かる授業

～生徒一人ひとりに学びの達成感・成就感をもたせる授業を目指し、授業改善を行います～

\*仲間づくりを意識した学習形態の工夫をします。

\*書く活動と聞く活動を通して考えを深める授業づくりをします。(学習指導要領)

\*思考力・判断力・表現力の能力を育む授業づくりを努めます。(学習指導要領)

\*全職員が一体となり、授業力向上に努めます。

(全職員が1人1授業公開を実施し、授業の改善を図ります。)

○自主的な学びの支援・

個別支援の充実

～基礎学力の定着、自ら学ぶ姿勢を育てます～

\*家庭学習強調週間を設定し、主体的・計画的な学習習慣の育成に努めます。(市一貫教育)

\*自主学習ノートの活用、家庭学習に向けたガイダンスを充実させます。

\*テスト前の質問教室、長期休業中の集中講座を開設し、個別に指導・支援します。

○開かれた学校

\*月に1回、学習参観日を設けます。

\*学校評議員会を設置し、学校運営の改善を図ります。